

らん空海

もう一層 かりにみしがと来たら、らん

行舟人あまのい

ある目そよ風あふいて来て、つうくしとわらわ

を空の中にすい舟ゆる さあこれかいらとこへ

行くのかあ ちた毛は居える どもそよ同水

つよら物しと 是ちらへ行く 行く空海と

だうう さらうていさうちん着陸 ちやうさう

なところだ 曲土かやりかた どのこいしあ

すわると かわらわいさあ半へもぐりてし

あう もうあう青空け見えあうが しぼう

ゆらうり ちすもろ

わらわは ここもいいとこらだ

こうでくさや葉をそだてよう とあつ

て これかうさうニとを居える

どんろ花を咲かせか 大きい香のやてい

色かぶ印だ どんろは黄色いもがね

黄色いいろい

真黄色 不レンじしかかたもの

やけりらん舟の黄絶

いのちをばね 手紙の紙  
 そういふ人の 景色はしる  
 二れかうたのこ と 舌 唇 云  
 手と又 不 平 心  
 人生 加り 予 知 し 存 心 正 義 の  
 左 だ 一 度 毎 午 の 経 験 心  
 二れ 加 ち 食 事 加 ち 予 知  
 ぬ ち の と ぬ ち の 不 正 義 心  
 し 乙 山 さ い 恵 徳 あり  
 そ ち 死 牛 木 果 仁 心 賞 命 完 心

299  
9/8

平野人 死